

## 第2分科会(小学校)

# 学校全体で取り組む道徳教育の指導と評価

～指導と評価の一体化を目指して～

苫小牧市立泉野小学校 教諭 河毛 留美

### 1 はじめに

本校では、「自ら進んで考え、他者と共によりよく生きる児童の育成」を研究主題として、昨年度から3年計画で道徳の研究を推進している。

本校では、「自ら進んで学ぶことのできる子」「自他のよさを認め合い、高め合える子」「明るく元気に気持ちのよい挨拶ができる子」「落ち着いた学びの環境づくりに心がける子」「最後まであきらめずにやりきる子」を目指す子ども像とし、「心の学校・泉野小」をスローガンとして掲げている。

道徳科の学習においては、5つの目指す子ども像と深く関わりを持たせ、児童に育みたい資質・能力の「学びに向かう力」「人間性」に関して、基盤を築く役割が期待できる。

また、令和2年度の教職員アンケートの結果より、本校の児童に身に付けたい力や伸ばしたい力として、「対人関係」「自己肯定感の向上」「思いやり」「挨拶」「正しい判断力」「素直さ」など多くの道徳的価値が、課題として浮き彫りとなった。

以上のことから、道徳教育を通して、道徳的価値に対して主体的に関わり、人間としてよりよく生きるために自己を見つめ、いかに生きるべきかを自ら考えることができる子どもを目指していく必要があると考え、研究主題を設定した。

### 2 道徳のオリエンテーション

本校では、年度の初めに道徳のオリエンテーションを実施することを推奨している。「道徳の時間はどういう時間か」ということを早い段階で児童に伝えることが、今後の授業づくりに大きな影響を与えると考え、道徳の時間の意義を教師と児童が共有することで1年間の学びが実りあるものに近づくであろう。

「自分の心と向き合う時間」「いろいろな考えに触れよう」...など。

### 3 学校全体で取組む道徳教育

#### (1) 別業の見直し

道徳の別業については、全ての教員にとって使いやすいものであり、学校教育全体と関連させながら活用できるスタイルを目指して、常に見直し改善を行っている。3年度は、各学年の担任が朱書きを入れながら見直しを図った。しかし、実際は、日常の教育活動と関連することを意識できず見落としがちにある現状であった。

そこで、今年度は、より実用的なものを目指して、重点内容項目のみに絞った別業を作成した。昨年度の重点内容項目である「親切・思いやり」「善悪の判断・自律・自由と責任」に、今年度の重点内容項目「感動・畏敬の念」「規則の尊重」を加えて作成した。

各学年の担任には学年打ち合わせの際に、別業を見ながら翌週の予定を立てるよう声掛けをしているところである。

今後、毎年更新しながらより一層、実用的な別業作りを目指していきたい。

#### (2) 児童アンケートの実施

本校では、3年度から児童を対象とした道徳アンケートを年2回実施し、教員全体で児童の実態を把握している。アンケートの内容は、「道徳の授業は好きですか」「道徳の授業で、友達の考えを聞きながら、自分のことについてよく考えていますか」の授業に関する内容が2つ、重点内容項目に関する内容が2つである。授業に関する設問は、アンケート結果を受け授業づくりに生かすためのものであり、指導と評価の一体化にも繋がるものにした。また、結果は保護者向けの「道徳通信」で紹介し、保護者の関心が高まるよう働き掛けている。

**どうとく 道徳アンケート(低学年)** ていがくおん

名前

道徳に関するアンケートです。成績には関係ないので、自分が思っていることを答えてください。  
1～4までではまるもの1つに○をつけてください。

① 道徳の授業が好きですか？

|      |           |            |       |
|------|-----------|------------|-------|
| 1 すき | 2 まあまあ すき | 3 あまりすきでない | 4 きらい |
|------|-----------|------------|-------|

② 道徳の授業で、友だちの考えを聞きながら、自分のことについてよく考えていますか？

|        |            |            |         |
|--------|------------|------------|---------|
| 1 している | 2 まあまあしている | 3 あまりしていない | 4 していない |
|--------|------------|------------|---------|

③ うそをついたりごまかしたりしないで、正直に生活していますか？

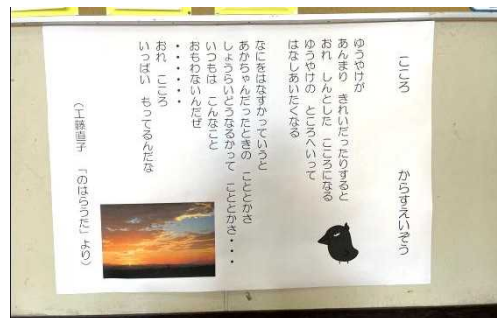
|        |            |            |         |
|--------|------------|------------|---------|
| 1 している | 2 まあまあしている | 3 あまりしていない | 4 していない |
|--------|------------|------------|---------|

④ 周りの人に親切にしていますか？

|        |            |            |         |
|--------|------------|------------|---------|
| 1 している | 2 まあまあしている | 3 あまりしていない | 4 していない |
|--------|------------|------------|---------|

#### (3) 環境づくり

道徳教育を推進するための側面的な手立てとして、環境づくりを学校全体で行っている。児童の心に響くための手立てとして、担任外の教員が廊下の壁面に詩を掲示し、毎月更新している。各学年の担任は、道徳の授業後に教室前廊下に授業を振り返ることができるような掲示を工夫している。こちらは事後指導にも繋がる効果が期待できる。





#### 4 校内研修

昨年度から校内研修として道徳を扱うことになり、「指導観を明確にした道徳授業を目指して」を副題とし、授業づくりを中心とした研修を進めている

##### (1) 1年目(令和3年度)

研究内容1. 2. 3を設定し、各ブロックでそれぞれの内容に関する重点を掲げて、授業づくりの基本を習得した。

##### ①研究内容1

- 基本的な指導過程の徹底
- 導入の工夫
  - ・学習テーマの設定
  - ・問題意識をもたせる工夫

##### ②研究内容2

- 資料の分析、提示の工夫
- 授業展開の工夫
  - ・ねらいを意識した発問や問い返しの工夫
  - ・話し合い活動の工夫
  - ・書く活動の充実
  - ・自己を見つめる場面の工夫

##### ③研究内容3

- 終末の工夫
- 事後指導の充実
  - ・励ましのコメント
  - ・道徳コーナーの設置

##### 成果

1年目の校内研修では、特に研究内容1の「問題意識をもたせる導入の工夫」で成果を得ることができた。各学年、積極的に事前アンケートを実施し、児童の心と行動のズレから問題意識をもたせて授業を展開することができた。そのため、児童が話し合う目的を意識して参加していた。

##### (2) 2年目(令和4年度)

1年目の校内研修の充実は、道徳授業実践への新たな意欲を生み、「『感動・畏敬の念』の授業が最も難しいから、研修で取り組みたい」という意見が先生方自身から複数出された。そこで、今年度は全学年「感動・畏敬の念」の授業などを公開し、研修を深める。

##### (3) 学習会(模擬授業)の実施

先生方の要望により、「感動・畏敬の念」の模擬授業を実施した。教材は「母さんの歌」。本校で扱っている教科書には掲載されていない教材で行うことにより、先生方には先入観のない状態で児童役になってもらった。

授業後には、たくさんの質問が出され授業づくりへの熱心な意見交換ができた。

##### (4) 学校長による道徳授業

本校では年1回、全学級で学校長による道徳授業が行われている。児童にとっては、特別な授業で喜びが大きく、意欲的に授業に参

